



## 2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年9月1日

上場会社名 株式会社ビーアンドピー 上場取引所 東  
 コード番号 7804 URL <https://www.bandp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田山 朋弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 清水 明 TEL 06-6448-1801  
 四半期報告書提出予定日 2021年9月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期第3四半期の業績 (2020年11月1日～2021年7月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	1,907	△1.1	185	0.4	193	2.8	131	2.2
2020年10月期第3四半期	1,928	△12.1	185	△41.7	188	△40.5	128	△44.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	57.15	57.08
2020年10月期第3四半期	55.90	55.56

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	3,109	2,694	86.7
2020年10月期	3,025	2,613	86.4

(参考) 自己資本 2021年10月期第3四半期 2,694百万円 2020年10月期 2,613百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2021年10月期	—	0.00	—		
2021年10月期 (予想)				31.00	31.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、当面の配当方針としては期末配当の年1回を基本方針としております。

### 3. 2021年10月期の業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	8.5	256	23.3	263	24.6	179	28.1	78.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年10月期3Q	2,300,000株	2020年10月期	2,300,000株
② 期末自己株式数	2021年10月期3Q	一株	2020年10月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年10月期3Q	2,300,000株	2020年10月期3Q	2,300,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、一部の地域において緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用されております。ワクチン接種の進捗による経済の回復が期待されますが、いまだ先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は引き続き従業員の安全を確保し、柔軟な時差出勤の実施、在宅勤務の一部実施等の各種感染防止策を実行した上で、お客様からの信頼にお応えするべく、営業体制・制作体制の両方の維持継続を図ってまいりました。

販売促進用広告制作については、第1四半期会計期間においては新型コロナウイルス感染症の影響による売上落ち込みが続きましたが、2月以降は3月の年度末に向けて国内企業の販売促進活動が活発化し、4月以降についても新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同月を上回る状況が続いております。また、生活資材・製品制作については、ホテルの壁紙の受注等により順調に売上を伸ばすことができました。デジタルサイネージについては、大阪本店と東京本社にショールームを開設し、第2四半期会計期間から販売を開始いたしました。さらに、3月には株式会社ピースリーと業務提携契約を締結し、インテリア市場に向けたデジタルサイネージの展開への道筋がつかまりました。今後の事業展開に向けて引き続きお客様に積極的な提案を行ってまいります。一方、EC領域で展開されている企業様向けの販促提案・サポートサービスとして、当第3四半期会計期間から新たにインターネット通販サポート事業を開始いたしました。まだ事業の立ち上げ段階ですが、来期からの本格展開に向けて積極的な営業活動を行っております。また、生産のオートメーション化を推進するためのソフトウェアを導入し、生産の効率化に向けて取り組みました。

以上の結果、売上高は1,907,159千円（前年同期比1.1%減少）、営業利益は185,944千円（前年同期比0.4%増加）、経常利益は193,874千円（前年同期比2.8%増加）、四半期純利益は131,440千円（前年同期比2.2%増加）となりました。

売上高につきましては、第1四半期会計期間は新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった前年同期に対して27.2%の減少と大きく落ち込みましたが、第2四半期以降は回復基調となり、第2、第3四半期6か月通算では前年同期に対して12.5%の増加、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった2019年10月期の同期間に対してほぼ同額（0.3%の減少）となりました。営業利益につきましては、第1四半期会計期間は売上高の落ち込みにより赤字となりましたが、第2四半期以降は売上高の回復に加えて残業抑制等のコスト意識が定着したことにより、第2、第3四半期6か月通算では前年同期に対して67.3%の増加、2019年10月期の同期間に対しても9.3%の増加となりました。結果として当第3四半期累計期間の売上高は期初想定通りとなり、営業利益は期初想定を上回りました。

なお、8月に東京本社の移転が完了し、東京事業部の営業部門とニコール事業部の営業部門を新東京本社に統合いたしました。また、東京事業部の生産部門とニコール事業部の生産部門を横浜ファクトリー（ニコール事業部を増床のうえ改称）に集約しております。これにより首都圏エリアにおける営業機能の強化と生産体制の効率化が実現し、今後の業績拡大に繋がるものと考えます。

（単位：千円）

区分	前第3四半期累計期間 （自 2019年11月1日 至 2020年7月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年11月1日 至 2021年7月31日）	前年同期比（%）
販売促進用広告制作	1,568,500	1,501,296	95.7
生活資材・製品制作	359,868	405,863	112.8
合計	1,928,369	1,907,159	98.9

（注）第1四半期会計期間より、販売区分を一部見直し、従来販売促進用広告制作に区分していたアミューズメント施設等への売上を生活資材・製品制作に区分しております。なお、前第3四半期累計期間については変更後の区分に組み替えた数値を記載しております。また、デジタルサイネージ及びインターネット通販サポートについては売上が僅少であるため、販売促進用広告制作に含めております。

なお、当社はインクジェット出力事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の経営成績の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、2,832,717千円（前事業年度末は2,778,008千円）となり、54,709千円増加いたしました。その主な要因といたしましては、剰余金の配当等により現金及び預金が71,324千円減少したものの、受取手形と電子記録債権の増加により売上債権が121,518千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、276,360千円（前事業年度末は247,304千円）となり、29,055千円増加いたしました。その主な要因といたしましては、減価償却等により有形固定資産が14,548千円減少したものの、東京本社の移転先やニコール事業部増床部分に対する敷金差入等により敷金が50,096千円増加したためであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、286,518千円（前事業年度末は284,454千円）となり、2,064千円増加いたしました。その主な要因といたしましては、賞与支給に伴い賞与引当金が25,344千円減少したものの、仕入の増加により買掛金が14,134千円、設備投資に伴い未払金が14,101千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、127,742千円（前事業年度末は126,883千円）となり、859千円増加いたしました。その主な要因といたしましては、繰入により役員退職慰労引当金が4,622千円増加したものの、返済によりリース債務が3,800千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,694,815千円（前事業年度末は2,613,975千円）となり、80,840千円増加いたしました。これは、剰余金の配当50,600千円の減少要因はあったものの、四半期純利益131,440千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期通期の業績予想につきましては、2020年12月9日に公表しました業績予想から修正を行っておりませんが、配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の先行きが見えない中でも業績に回復の兆しがみえることを考慮し、また、これまで株主還元が十分にできなかったところ、株主の皆様へ誠意をもって利益を還元する観点から、従前の配当予想金額1株当たり26円から5円増額し、1株当たり31円とさせていただきます。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響につきましては、第3四半期以降も国内の経済活動が引き続き回復する前提に基づき予測したものであり、実際の収束時期によっては国内企業の販売促進活動の停滞が続き、それにより当社の業績は変動する可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,264,344	2,193,019
受取手形	21,741	77,347
電子記録債権	76,259	146,385
売掛金	374,886	370,672
商品	—	621
仕掛品	10,987	7,948
原材料	7,953	14,674
貯蔵品	542	—
前払費用	20,866	21,676
その他	426	370
流動資産合計	2,778,008	2,832,717
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,740	37,765
機械及び装置	450,181	426,904
車両運搬具	632	632
工具、器具及び備品	7,369	7,594
リース資産	43,949	29,697
その他	2,769	3,467
減価償却累計額	△459,011	△445,978
有形固定資産合計	74,632	60,083
無形固定資産		
ソフトウェア	2,960	5,754
のれん	29,339	25,654
顧客関連資産	15,699	11,712
その他	—	525
無形固定資産合計	47,998	43,647
投資その他の資産		
出資金	60	60
敷金	64,744	114,840
長期前払費用	3,095	954
繰延税金資産	56,774	56,774
投資その他の資産合計	124,673	172,629
固定資産合計	247,304	276,360
資産合計	3,025,312	3,109,077

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	121,253	135,388
未払金	17,931	32,032
未払費用	20,171	23,705
未払法人税等	39,790	27,236
未払消費税等	18,024	25,539
預り金	17,126	20,658
賞与引当金	40,710	15,366
リース債務	8,851	5,642
その他	593	949
流動負債合計	284,454	286,518
固定負債		
役員退職慰労引当金	114,316	118,938
資産除去債務	7,726	7,764
リース債務	4,840	1,039
固定負債合計	126,883	127,742
負債合計	411,337	414,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,000	286,000
資本剰余金	276,000	276,000
利益剰余金	2,051,975	2,132,815
株主資本合計	2,613,975	2,694,815
純資産合計	2,613,975	2,694,815
負債純資産合計	3,025,312	3,109,077

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
売上高	1,928,369	1,907,159
売上原価	1,164,702	1,145,011
売上総利益	763,666	762,148
販売費及び一般管理費	578,493	576,204
営業利益	185,173	185,944
営業外収益		
受取利息	0	0
受取補償金	3,839	105
補助金収入	—	8,000
雑収入	120	94
営業外収益合計	3,960	8,200
営業外費用		
支払利息	578	270
営業外費用合計	578	270
経常利益	188,554	193,874
特別損失		
固定資産除却損	50	1,429
特別損失合計	50	1,429
税引前四半期純利益	188,504	192,445
法人税等	59,944	61,005
四半期純利益	128,560	131,440



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症につきまして、現実には影響が続いているものの、業績についてはほぼ想定通りに進捗しているため、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

なお、実際の収束時期によっては国内企業の販売促進活動の停滞が続き、それにより当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。